

2020年度小学校外国語科新教科書分析

－Small Talk にどう活用したらよいか－

An Analysis of Small Talk on English Textbooks Used at Elementary School

－How can the teachers use them effectively?－

中 野 聡

要旨

2020年度から小学校5、6年生で初めて使用することになった7種類の教科書におけるSmall Talkの取り扱い方について分析した。その結果、(1)多くの教科書が「意味あるやり取り」を意識したSmall Talkを取り扱っているが、量的・質的に十分とは言えないこと、(2)どのような話題でSmall Talkを行うかは、重要であり、そのため指導者による学習内容分析、児童の興味関心に関する実態調査の大切さと話題の整理の仕方が大切であること、(3)「意味あるやり取り」にするために、「必然性」をどう児童に感じさせるかについては、指導者の工夫によるところが大きいことが明らかになった。これらのことを意識しながら教科書を活用することが望まれる。

キーワード：新学習指導要領 (The new school course guidelines)／教科書分析 (analysis of textbooks)／
小学校外国語科 (foreign language education of elementary schools)／
話すこと [やり取り] (spoken interaction)

I はじめに

1 新学習指導要領と新教科書

2020年度は、新学習指導要領の全面実施の年度であり、小学校3、4年生においては外国語活動、5、6年生は、外国語科の授業が本格的に始まった。5、6年生にとっては、教科となる初めての年である。これまで移行期においては、5年生は文部科学省が作成した「We Can! 1」を、6年生は「We Can! 2」を使用した。全面実施に伴い、新教科書が使用されることになった。改めて教科書とは、「教育・学習活動が行われる際に、それらが適切に効果的に実施されるために用いられる書物」(英語教育用語辞典)である。これは、「検定教科書(＝文部科学大臣の検定を経た教科用図書)…中略…を教科書として用いなければならない。」(英語教育用語辞典)という根拠に基づいている。

2 新学習指導要領における「話すこと [やり取り]」とSmall Talk

新学習指導要領では、旧学習指導要領に引き続き、コミュニケーション能力の育成が目標とされている。新学習指導要領では、特に「やり取り」を重視している。これまで、小学校では、「聞く」「話す」を中心に、中・高等学校では、「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」の4技能をバランスよく育成することを目指してきた。これに対して、新学習指導要領では、「話すこと」を「話すこと [やり取り]」「話すこと [発表]」の2つの領域に区別し、4技能5領域の育成を目指している。

新学習指導要領に示される外国語科の「話すこと [やり取り]」における目標を3点あげている。「ア 基本的な表現を用いて指示、依頼をしたり、それらに応じたりすることができる。イ 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができるようになる。ウ 自

NAKANO, Satoshi

北陸学院大学 人間総合学部 子ども教育学科
シンプルイングリッシュ、小学校英語科教育法

分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問をしたり、質問に答えたりして、伝え合うことができるようにする。」としている。イの「日常生活に関する身近で簡単な事柄」とは、日常生活の中で児童の繰り返す出来事や習慣的なこと、あるいはその中で用いたり、接したりするものなどを指している。こうした事柄について指導者は、「自分の考えや気持ちなどを伝え合う必然的な活動」(学習指導要領)の工夫が求められている。

この「話すこと [やり取り]」について、『文部科学省は小学校外国語活動・外国語研修ガイドブック』(2017;以下「研修ガイドブック」)において、その理論と具体を示してSmall Talkの実践を要請している。

3 「一般的なSmall Talk」と「小・中学校外国語科におけるSmall Talk」

一般的にSmall Talkとは、「世間話、雑談、おしゃべり」(リーダーズ英語辞典)「polite conversation about unimportant or uncontroversial matters, esp. as engaged in on social occasions.」(新オックスフォード米語辞典第3版)と定義されている。小・中学校外国語科で使うSmall Talkもこの一般的な意図と重なるところが多くある。

海外では、大人の社会性を培うこと、コミュニケーション能力を高めるための指南書ともいえるべきSmall Talkについての出版物がインターネット上でも100冊以上が簡単に手に入る。(アマゾン洋書検索サイト2020年7月25日)例えば、King (2020)は、「人は、他者と関係を持つことで、幸せを感じ、健康を保つことができる。そのためには、Small Talkを心掛けることが大切である。その技能をあげるためには、練習が必要である。」と述べている。Prince (2020)は、「small talk puts people at ease, draws them into the conversation, and creates a comfort zone so that you can build a relationship with them.」とSmall Talkの重要性を述べている。そして、良いSmall Talkを展開するために、よい聞き手となるにはどうあればよいかなどの心がけが述べられている。その他Fine (2018)、Lowndes (2020)も社会性を培うための手段としてSmall

Talkを取り上げている。日本の産業界においてもSmall Talkの重要性に注目が集まり始めていることが、業界紙に取り上げていることからわかる。井上 (2019)は、「ミーティング前の雑談としてSmall Talkをします。…(中略)…相手が答えやすいような質問を選ぶとよいでしょう。…(中略)…相手があなたといることに対して心地よいと感じてくれたら、長い目で見るとお互いの関係は良い方向に進むでしょう。」と指南している。東 (2015)は、スキー場でリフトに乗った初対面の人との会話について調査を通して、「リフトの上でのちょっとした会話も、案外、グローバル化への貴重なトレーニングになるかもしれない。」と最後に述べている。また、吉澤 (2019)は中学生にSmall Talkを指導した経験から「スモールトークの目的は1つではないと思うが、その中でも人間関係を作ることは外せない目的であろう。」と主張している。これらのことは、「中央教育審議会答申案」(1996)にある「国際化の進展は、人と人の相互理解・相互交流が基本となるものであり、その意味で教育の果たす役割はますます重要」とすること。内閣府 (2003)の示す「人間力」の中に、「コミュニケーションスキル」を社会対人関係力の要素の一番に示していること。そして、ATC21S「21世紀型スキル」の働き方の第一にコミュニケーションが位置付けられていることと方向性を同じくするものである。国際化の進展にあって、こうした力を身に付けることは、日本の小学生にとって必要なことと言える。

4 小学校外国語科におけるSmall Talkの目的とその指導方針

文部科学省が設定する小学校外国語科におけるSmall Talkの目的は、「研修ガイドブック」によれば、「(1) 既習表現を繰り返して使用できるようにしてその定着を図ること、(2) 対話の続け方を指導すること」である。(1)については、「児童が現在学習している単元及び当該単元より前の単元で学習した言語材料を繰り返し使用できる機会を保障し、当該言語材料の一層の定着を目指す」ものである。また、(2)については、「相手の話した言葉を繰り返して話し手が伝えたい内容を確認したり、相手の話したことに何らかの反応を示

したりすることで対話は続くもの」として、その例として、対話の開始、繰り返し、一言感想、確かめ、さらに質問、対話の終了の6点を挙げている。

Small Talkでは、「誰かになりきって話したり、役を演じて疑似的な対話をしたりするのではなく、指導者や児童が自分自身に関する本当の出来事や気持ちなどについてやり取りをすること」(研修ガイドブック)が大切である。

具体的な指導について、「We Can! 1 指導編」「We Can! 2 指導編」は、5年生と6年生に趣旨の違いについて述べられている。それによれば、小学校5年生は、指導者によるまとまりのある話を聞いて分ったり、既習表現を繰り返し聞くことで、それを使えるようになったりする。また、指導者の話を聞いた上で、その話に関わる質問にその場で答えられるようにする。一方、6年生は、既習表現を繰り返し使用できるようにしてその定着を図り、対話の続け方を身に付けるようになる。6年生は、「相手を替えて1～2分程度の対話を2回程度行う対話的な活動」(研修ガイドブック)としている。

なお、中学校におけるSmall Talkについては、文部科学省の「移行期における指導資料について(中学校外国語科)」(2019)において、①「帯活動」(約10分間)でSmall Talkの実施を想定している。②その目的は、「話すこと[やり取り]」の能力を少しずつ身に付けること、「増加すると思われる語」を聞いたり話したりすることができることとする。③内容は、身近な話題の中で、自分自身の考えや気持ちなどを伝え合わせること、教師も自分自身のことを英語で伝えること、やり取りを楽しむことを重視する。④トピックを4～5(「思い出」「したいこと」「人紹介」等)に焦点化することなどを求めている。

いずれにしても、指導者は、文部科学省から示された例や、教科書に示された例などを参考にしながら、「それらを参考に児童の実態に応じてアレンジして取り組んで」(We Can! 1 指導編)いく必要がある。

示されている例からもわかるが、「自分の好み」「家庭での生活」など単元で扱った話題についてSmall Talkが行われる場合と、「簡単な指示・

依頼」「要求」など機能表現を使う場面がある。

5 Small Talkに関する先行研究と先行的実践

国内におけるSmall Talkに関する先行研究として、立花(2018)は、「We Can! 1」、「We Can! 2」に示されたSmall Talkの談話分析を行っている。具体的には、「小学校外国語活動・外国語研修ガイドブック」の例文を以下、①あるテーマのもとで、まとまった話をしている。(自分の考えや気持ちを伝え合っている。)②理解の手立てとして非言語材料を活用している。③インタラクションを通して、児童の理解を深めるための言語的方略が用いられている。④インタラクションを通して、児童の発話を誘発するための言語的方略が用いられている。⑤既習表現を繰り返し使用できるようにしてその定着を図っている。⑥対話を続けるための基本的な表現の定着を図っている。の6つの視点で整理している。

また、川村(2020)は、Small Talkにおける1回目と2回目のやり取りの間に中間交流の場を持って、児童が伝えたくても英語で表現できなかったことはないか確認・指導をする。その効果的な指導法について述べている。

先行的実践として、実践家やそれにかかわる研究者からSmall Talkにおける話題の重要性について多く述べられている。巽(2018)は、『Small Talk』が成り立つ第一の条件は、子供たちが、やり取りされる話題やその内容に注目して聞いていること、そして、興味を持ってその話題に入り込んでいるということ」と述べている。山田(2018)は、岐阜市立長良東小学校の実践で、身近であること、伝える価値があること、教科書で取り扱われていることの3つの視点から、「好きなもの・人」「思い出」など6つに整理したと述べている。本田(2019)は、子供たちが何かしら伝えたいことがある話題であることの大切さに言及している。八木澤(2019)も「子供の興味を惹きつける魅力的な話題の設定」の大切さについて「話題の設定は、教師の腕の見せ所と言えます。…中略…子どもにとってより身近な話題の設定(Unit 4 I like my town (注: We Can! 2) など)を心掛けましょう。」と主張している。高校生にSmall Talkの指導している戸村(2019)も「高校生の興

味関心が高いものや考えてほしいことを選びます。同じ話題でもトピックの設定を変えれば、違った角度から繰り返し扱うことで、社会的な視点を加えられます。」といずれも話題設定の重要性について主張している。樋口(2017)は、「児童がやってみたい、友達に聞いてみたいと思う話題を与えると活動の質が向上する。」と述べている。

これらのことから、新教科書におけるSmall Talkに関する分析は、教科書を活用する指導者にとって有益である。

II 研究

1 研究目的

本研究の目的は、新教科書においてSmall Talkについて、どのように活用できるかという視点で、Small Talkがどの程度取り扱われているか、どのような話題が扱われているか、言語活動で大切にしたい視点がどれほど実現できるものか、という点から教科書を分析、考察する。

2 教科書分析の手順

(1) 対象及び範囲

小学校外国語科の検定教科書、以下の7種類を分析対象とする。

教科書一覧

教科書名	出版社
NEW HORIZON Elementary English Course 5	東京書籍株式会社
NEW HORIZON Elementary English Course 6	東京書籍株式会社
Junior Sunshine 5	開隆堂出版株式会社
Junior Sunshine 6	開隆堂出版株式会社
JUNIOR TOTAL ENGLISH 1	学校図書株式会社
JUNIOR TOTAL ENGLISH 2	学校図書株式会社
CROWN Jr.5	株式会社三省堂
CROWN Jr.6	株式会社三省堂
ONE WORLD Smiles 5	教育出版株式会社
ONE WORLD Smiles 6	教育出版株式会社
Here We Go! 5	光村出版株式会社
Here We Go! 6	光村出版株式会社
Blue Sky 5	株式会社新興出版啓林館
Blue Sky 6	株式会社新興出版啓林館

(2) 分析の視点

教科書にあるSmall Talkを指導でどのように活用したらよいかを考えるために次の3つの点から分析を行った。

ア Small Talkが、5年生、6年生の各学年でどれくらいの回数取り扱われているか。

「Small Talk」という言葉で表現されていなくても、「話すこと [やり取り]」を意識している会話マークや、Activityとして「自分のことを話し、先生や友達に聞きましょう」、また「友達とやり取り」などの表示がある場合も対象とした。

イ アでSmall Talkの対象とした活動について、どのような話題が取りあげられているか。

「身近な話題」としてどのようなものが取り上げられているかを分析対象とした。

ウ 「意味あるやり取り」の基礎条件として備えていたい4つの視点「相手意識」「必然性」「ほんもの」「コミュニケーションの楽しさや意義」を意識した話題となっているか。

直山(2020)は、「子どもが話したいと思う目的や場面、状況を設定することが大事。そのために4つの要素は、『相手意識』『必然性』『ほんもの』『コミュニケーションの楽しさや意義』と主張する。アでSmall Talkの対象とした活動について、4つの要素はどの程度意識されているかを4要素のそれぞれの頻度と各Small Talkに4つの要素はどれほど意識的に含まれているかを分析した。

III 分析結果・考察

以下3つの視点に従って分析していく。

1 Small Talkが、5年生、6年生の各学年でどれくらいの回数取り扱われているか。

分析の結果(表1)から、次のようにまとめられる。第1に、どの教科書もSmall Talkを意識して「話すこと [やり取り]」が取り扱われている。学年平均は、5年生が18.1回、6年生が14.8回と、やや5年生が多く5、6年生の平均では、16.5回である。年間70時間の授業数に対して、4回に1回の割合で話題提供がされていることになる。樋口(2017)の「繰り返しふれさせることで

表現が児童の記憶に刻み込まれることを目指して、教科書で取り扱われている以上の頻度で Small Talk に取り組むべきである。

第2に、教科書により Small Talk の取り扱い回数に差がある。一番多いのは、教科書A 5年、6年の合計64回、一番少ないのは、教科書D 5年、6年の合計14回である。50回の差がある。また、同じ教科書の5、6年生のそれぞれの教科書で取り扱われる Small Talk の回数はほぼ同じである。例えば、教科書A 5年、6年は、いずれも32回である。ただ、教科書C 5年では、34回、教科書C 6年では、19回と大きな差がある。その理由は、教科書C 5年で最初に14の話題が設定されているからである。ここでは「3、4年生で活動した表現」として“What do you want?”、“What’s this?”などが話題となっている。

天笠（2019）は、「生きる力その先へ」で中央教育審議会第9期教育課程部会長として「教育に関わる一部の限られた人たちだけでなく、保護者や地域の人も一緒にご覧になって、子どもたちを育てる方向を一にして確認していただきたい。あるいは、一緒に学ぶ輪に加わってほしい。」と述べている。こうした方向性からすると、Small Talk に取り組んでいることを保護者・地域の方に理解していただくためにも一定の回数の掲載が望ましい。

表1 「教科書別 Small Talk 取り扱い回数」

教科書	学年別取り扱い回数	学年合計取り扱い回数
A 5年	32	64
A 6年	32	
B 5年	16	29
B 6年	13	
C 5年	34	53
C 6年	19	
D 5年	7	14
D 6年	7	
E 5年	18	32
E 6年	14	
F 5年	9	17
F 6年	8	
G 5年	11	22
G 6年	11	

2 各教科書で Small Talk の対象とした活動について、どのような話題が取りあげられているか。

話題の分類方法については、まず新学習指導要領に例示された話題について「新学習指導要領「話すこと [やり取り]」に関連した話題に関する記述のまとめ3、4年生」（資料1）、「新学習指導要領「話すこと [やり取り]」に関連した話題に関する記述のまとめ5、6年生」（資料2）にまとめた。

これらの話題を整理するために3つの資料を参考に整理した。1つは、CEFRに示された項目を使用する。具体的には、A1レベルでは、「…(前略)…自分や他人を紹介することができる…(中略)…個人情報について…(後略)」とある。A2レベルでは、「…(前略)…家族情報、買い物、地元の地理、仕事など、直接的関係がある領域…(後略)」とある。B1レベルでは、「仕事、学校、娯楽など普段出会うような身近な話題…(後略)」とある。

もう2つは、小学校学習指導要領生活編（2017）には、「自分と身近な人々について」考えを巡らせ、小学校学習指導要領社会科編（2017）には、中学年で「身近な地域や地区町村」「自分たちの都道府県」、高学年では「我が国の国土」「我が国と関係の深い国」「グローバル化する国際社会」についての理解を求めている。これらのことを参考して、「Ⅰ自分のこと」「Ⅱ家族や友達のこと」「Ⅲ学校生活のこと」「Ⅳ地域のこと」「Ⅴ世界のこと」という枠組みを作り、その枠組みに前述の「新学習指導要領「話すこと [やり取り]」に関連した話題に関する記述のまとめ3、4年生」（資料1）、「新学習指導要領「話すこと [やり取り]」に関連した話題に関する記述のまとめ5、6年生」（資料2）にある話題を整理した。3、4年生については、「3、4年生 学習指導要領に示される Small Talk の話題」（表2）に示したように18の話題に整理した。また、5、6年生については、「5、6年生 学習指導要領に示される Small Talk の話題」（表3）に示したように18の話題に整理した。いずれの話題例にも「場所」「事実」など抽象的な話題が含まれている。これらは、教科書によって違う場面を扱っていること、また、「Ⅰ～Ⅴ」までの枠組みの中に収めるより

資料1 「新学習指導要領「話すこと [やり取り]」に関連した話題に関する記述のまとめ3・4年生」

No.	話題	例、解説	言及ページ
1	知り合いとの簡単な挨拶	○Good morning/ afternoon.○Hello. How are you? I'm good. ○Let's start. Yes, let's.○Hello. Goodbye. See you.	32 37
2	感謝	○Thank you.	32
3	簡単な指示・依頼 それに応じる	○The A card, please. Here you are.	32
4	好み	スポーツ、色、動物、食べ物(果物)、欲しい物 ○ I like soccer. I like apples.○Do you like blue?	30 32 33
5	要求	○I want carrots.	32 33
6	自分や相手の好みについて	○色、お気に入りの場所、漢字 ○My favorite place is the music room. I like music.	34 35
7	欲しい物について		33 34
8	身の回りの物の数について	○How many? Two.	34 37
9	身の回りに物の形状について		34
10	自分の好き嫌い		34
11	自分の欲しい物		34
12	時刻や曜日	○What time is it? It's 8:30.	35 36
13	場所		35
14	家庭での生活	○I woke up (at 6:00). I go to school. I go home. I take a bath. I do my homework.○I eat lunch.○This is my pet.○I'm tired. Are you O.K?	36
15	学校での学習や活動	○Do you have a ruler? Yes, I do. I have a ruler. /No, I don't. I don't have a ruler.○This is the music room.	36 37
16	地域の行事	○Let's dance <i>bon-odori</i> . I like <i>Yamakasa</i> festival.	36 37
17	子どもの遊び	○Rock, scissors, paper. One, two, three.○What's this? Hint, please. ○Let's play dodgeball outside. Yes, let's. ○Let's play cards. Sorry. ○I like tag. I like Bingo.	37
18	自己紹介	○Hello(Hi), I am Haruto. I like blue. I like baseball. I don't like soccer. ○Do you like soccer? Yes, I do. I like soccer.	37 38
19	買物	○Hello. Do you have a pen? Sorry, no, I don't. ○What do you want? I want potatoes, please. ○How many? Two please. Here you are. Thank you.	37 38
20	食事	○What food do you like? I like pudding. ○This is my pizza. ○What do you want? A banana, please.	38
21	道案内	○Go straight. Turn right/left. ○This is the swimming pool/ music room/ gym.	38

資料2 「新学習指導要領「話すこと [やり取り]」に関連した話題に関する記述のまとめ5・6年生」

No.	話題	例、解説	言及ページ
1	初対面の人や、知り合いの人との簡単なあいさつ 自己紹介	○クラス替えによる新しい友だち、新しく赴任した ALT	79 106
2	簡単な指示・依頼 応じたり断ったり	・「応じたり断ったり」が追加。	78 79
3	日常生活に関する身近で簡単な事柄について	○On Sunday, I usually get up at seven. I always walk with my dog. ・「自分の力で」が強調される。	79 108
4	自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄。スポーツ		79 107
5	日常生活に関する身近で簡単な事柄		80
6	自分の趣味や得意なことなどを含めた自己紹介	○My birthday is~. I like/have/paly/watch~. I can~. I'm good at~. I want to ~.	109
6	友だちや家族		102
7	学校生活(学校での学習や活動)	○Do you have Japanese class on Wednesday? Yes, I do. /No, I don't. I have math on Wednesdays.	102 115
8	挨拶	○Good morning, everyone. Good morning. Hello. How are you? I'm fine, thank you. How are you? ・特有の表現例を示すとしている。	106 115
9	自己紹介 趣味、得意なこと	○Hello, my name is (). Nice to meet you. Hello, my name is (). Nice to meet you, too. Hi, I'm (). I'm from Brazil. I like soccer. Oh, you can play soccer very well.	106 115
10	買物	○How much is this bag? It's nine hundred yen. What fruits do you want? I want apples and bananas.	102 106 115 116
11	就きたい職業	○I want to be ~.	102 105
12	学校生活 小学校の思い出 学校での学習や活動	○I enjoyed jumping rope. It was exciting. What is your best memory in your school life? My best memory is our school trip. We went to Okinawa. It was exciting. ・これは、学校での学習や活動として分類されている。 ○Do you have Japanese class on Wednesday? Yes, I do. (No, I don't. I have math on Wednesday.)	81 105 115
13	家庭での生活	○What time do you get up? I usually get up at six. ○Do you like soccer? Yes, I do. I like playing soccer. What do you like? I like fishing. I enjoyed it on Sundays.	114 115

No.	話題	例、解説	言及ページ
14	地域のこと 地域の行事	○Let's go to the summer festival. Yes, let's. I'm sorry. I can't. ○I like my town. We have a big park. We don't have a gym. I want a gym.	81 115
15	食事	○日本の食文化 I like sushi very much. It's delicious. You like sushi. Me, too. Sushi is delicious. I like salmon. Do you like it(salmon)? ○What would you like? I'd like pizza. How much is it? It's two hundred yen.	106
16	道案内	○Where is the treasure box? Go straight. Turn left. You can see a house. It's in the house. Where is the park? Go straight for three blocks. Turn right. You can see it on your right.	106
17	旅行		106
18	日付、時刻	○What time do you get up? I usually get up at six.	102 114
19	値段	○物のところに例がある。	102
20	先週の休日に行った 場所やそこでしたこと		102

表2 「3、4年生 学習指導要領に示されるSmall Talkの話題例」

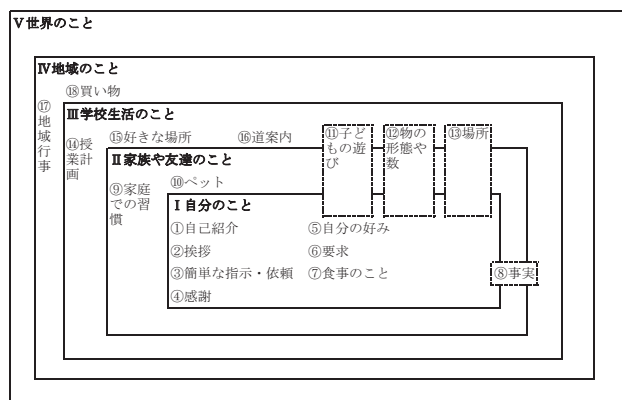
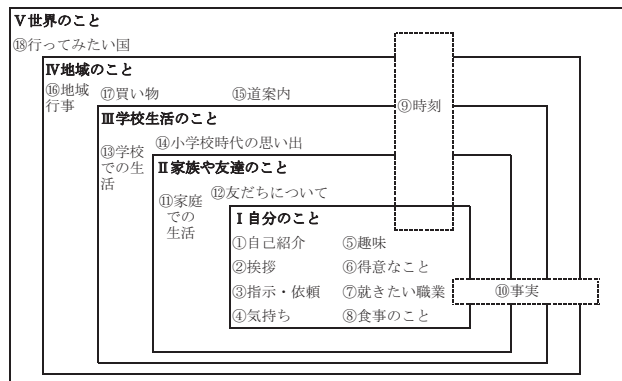


表3 「5、6年生 学習指導要領に示されるSmall Talkの話題例」



も複数の枠組みにわたって場面設定がされる場合があるので、[]で示す。

さて、これら、新学習指導要領に項目を指標として各教科書に取り扱われている頻度をまとめたのが、資料として示した「新学習指導要領の示すSmall Talkの話題に関する教科書別指標別頻度表の一部」(表4)である。なお、表2と表3に重ねて出てくる指標については、一つの項目とした。

分析の結果から次のようにまとめられる。第1に、様々な話題について取り上げていることがわかる。一番多くの話題を取り上げている教科書は、19の指標に関係する話題を取り上げている。一番少ない話題を取り上げている教科書は、14の指標に関する話題を取り上げている。各教科書がSmall Talkにおいて様々な話題を取り上げていることがわかる。

第2に、学習指導要領に例示されている話題のすべてが各教科書に取り上げられているわけではない。「自分の好み」「気持ち(好き、嫌いなど)」は、いずれの教科書もよく取り上げている。一方で、「ペット」「友だちについて」などは、きわめて少ない。Small Talk以外の活動でそれらのことは話題にしているから、ここでは取り

表4 「新学習指導要領の示すSmall Talkの話題に関する教科書別指標別頻度表」

教科書7社	A		B		C		D		E		F		G		各指標別合計
	5年	6年	5年	6年	5年	6年	5年	6年	5年	6年	5年	6年	5年	6年	
Small Talk場面回数	32	32	16	13	37	19	7	7	19	16	9	8	11	11	
分類指標別頻度	5年	6年	5年	6年	5年	6年	5年	6年	5年	6年	5年	6年	5年	6年	
3、4年生の指標															
①自己紹介															0
②挨拶															0
③簡単な指示・依頼															0
④感謝															0
⑤自分の好み	9	1	5	1	3	1	2	1	1	2	1	1	1	1	30
⑥要求	4	1	1	1	2						1				10
⑦食事のこと															0
⑧事実	1														1
⑨家庭での習慣	1														1
⑩ペット															0
⑪子どもの遊び	1		1		1										3
⑫物の形態や数					1										1
⑬場所	2		1			1			1	2	1		1	1	10
⑭授業計画	1				1		1		1		1		2		7
⑮好きな場所					1										1
⑯道案内															0
⑰地域行事															0
⑱買い物															0
3、4年生分類視点別頻度合計	19	2	8	2	9	2	3	1	3	4	4	1	4	2	64
5、6年生の指標															0
①自己紹介	1	3	2		2	2		1		1		1	2		15
②挨拶									1						1
③指示・依頼															0
④気持ち(好き、嫌いなど)	13	10	4	4	6	3	1	1	4	3	4	2	3	2	60
⑤趣味							1				1				2
⑥得意なこと(できること)	5	3	2		3	3	1		5	1		2	2		27
⑦就きたい職業				2		2		1				1		1	7
⑧食事のこと	2	4	2		2	2				1					13
⑨時刻				1	3							1			5
⑩事実	5	5	4		7	2	1	4	2	2	1	2		1	36
⑪家庭での生活	2	7	1	4	3	1	3	1	1	1	1	1		3	28
⑫友達について															0
⑬学校での生活	3	5	1	3	3	2	1		1	1	1	1	3	2	27
⑭小学校の思い出		2		3		1		1		1		1		1	10
⑮道案内	1		2		2	3	1		3		1		1		14
⑯地域行事	1	2		1		1		1							6
⑰買い物(レストランの注文の含む)	2	2	3		4				3		1		1	1	17
⑱行ってみたい国		1		1	2		1		2	2	1		2		12
5、6年生分類視点別頻度合計	35	44	20	16	38	24	8	12	22	13	11	12	14	11	280
3～6年生分類視点別頻度合計	54	46	28	18	47	26	11	13	25	17	15	13	18	13	344

扱わないという考え方もあるかもしれない。しかし、既習表現を繰り返し聞くことで、それを使えるようになることを目指しているSmall Talkでこれらのことを話題にすることは、指導者として積極的に検討すべき事項である。

では、指導者はどのような話題を設定すればよいのだろうか。そのヒントとして長屋(2020)の言う「プロトタイプ的、スキーマ的という視点は、考える道具として有効」という考え方を試してみる。

ロッシュ(1975)は、あるカテゴリーの例について、被検者にどのくらいカテゴリーのよい例か悪い例か1点から7点までのポイント制でたずねた。その結果、①カテゴリーは、プロトタイプである周辺的なメンバーから構成されているメンバーで構成されていること②カテゴリーの属性

は、離散的ではなく連続的・段階的であること。③メンバーは、均等な資格をもたないこと④カテゴリーの境界はあいまいでありうること。⑤カテゴリーのメンバーとしての資格どのくらいプロトタイプに似ているかで捉えられることが明らかになった。

このことをスタートとして様々な研究が重ねられ、明解言語学辞典(2015)によれば、「人間が日常的に用いるカテゴリーの多くは、プロトタイプと呼ばれ、最もそのカテゴリーの成員らしい事例を中心とし、それらと何らかの原理によって関連づけられた事例を周辺的な成員として組み込む、という仕組みによって成立していると考えられる。」

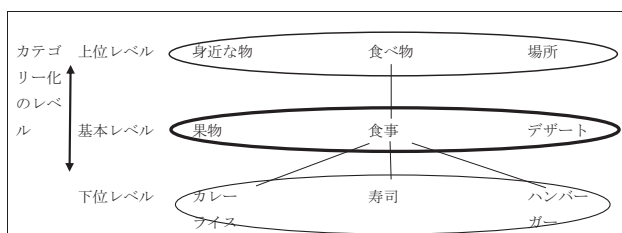
仮に、Small Talkで既習表現の定着のために、「好きか嫌い」を話題にしたいと考えたとす

る。児童に興味を持って学びに向かう力、人間性を高めながら、Small Talkに取り組む話題とは何だろうか。学習指導要領の例示、及び各教科書の具体例からは、「色」「スポーツ」「果物」「曜日」「天気」「教科」「スポーツ」「行事」「食べ物」「ゲーム」などがみられる。担当する児童の興味が高く、話題にするに一番ふさわしいものを選ぶことで、その学習集団のSmall Talkにふさわしいプロトタイプを選び出すことができる。加えて、ロッシュは、カテゴリー化の例として基本レベルを「TABLE, CHAIR, BED」とした。「CHAIR」の上位レベルを「TOOL, FURNITURE, DWELLING PLACE」とした。「CHAIR」の下位レベルは、「DINING-ROOM CHAIR, KITCHEN CHAIR, DENTIST'S CHAIR」としている。このことをヒントとしてSmall Talkの話題をカテゴリー化すると次のようになる。

指導者が使用している教科にあるSmall Talkの話題だけでなく、学習指導要領に例示されている話題や他の教科書で扱われている話題、また永井(2019)、瀧沢(2019)、山口(2019)などにある話題を参考して活用することも有効である。

表5 「Small Talk 1 の話題『～が好き』に関するカテゴリー化イメージ」

バトラー(2005)は、小学生の知的レベルと外



国語の言語レベルの大きなギャップがあること、楽しさも学年が上がるにしたがって変化することに言及している。Small Talkをどのような話題で行うかは、言語能力や興味をはじめとする児童の実態を指導者が把握して、いろいろな選択肢の中から決定することが望ましい。

3 「意味あるやり取り」の基礎条件として備えていたい4つの視点「相手意識」「必然性」「ほんもの」「コミュニケーションの楽しさや意義」を意識した話題となっているか。

直山(2020)がこれらの重要性について言及していることは先にも述べた通りである。これらの4つの視点は、学習指導要領にある『誰に』、『何のために』という、『相手意識』や『目的意識』をもって、質問したり答えたりする必然性のある活動とする。「自分の考えや気持ちなどを伝え合う活動」「英語を用いたコミュニケーションの楽しさを児童が実感できるように配慮することが重要である。』『伝え合う』ことへの意欲が高まるような場面設定や題材の選択を行い、活動を通して、児童が、自己理解・他者理解を深め、コミュニケーションの楽しさを実感できるように配慮することが重要である。」が根拠となっている。白井(2012)は、小学校英語教育における言語材料に「偽物でない(authentic)、意味のある(meaningful)、自分について(personal)」の大切について述べている。これも直山の論と通ずるところがある。

分析の方法としては、「3(1)」でSmall Talkとして取り上げたそれぞれの場面は、4つの視点を備えているかという分析をした。逆に言えば、この4つの要素を備えているSmall Talkは、「意味のあるやり取り」を含んだ活動と言える。具体的には、それぞれのSmall Talkについて上記4つの視点について「あると思われる」(Y)、「ないと思われる」(N)、「どちらともいえない」(?)の基準で分析した。(表6「Small Talkの4つの視点に関する分析表の一部」)

分析の結果から次のようにまとめられる。第1に、いずれの教科書も「相手意識」「ほんもの」「コミュニケーションの楽しさ・意義」について意識した作りとなっている。先生や友達とのやり取りに英語で楽しく取り組めるようにするための工夫が教室という制限の中で様々にされている。例えば、「(巻末の)カードに自分の好きな場所を書いて友だちに紹介する」「ペアになり、食べたいものを注文しましょう。」などがみられる。

第2に、必然性については、すぐに感じ取ることできるものは多くはない。「インタビューすることあなたと同じものが好きな人をさがそう」「What subject do you like?を使ってクラスの好きな教科のランキング作りをしよう。」「土曜日に起きる時刻を伝え合しましょう。一番早く起きるのはだれでしたか。」などは、工夫された例である。

表7 「Small Talkにおける4つの視点別頻度」

視点	5年合計				6年合計				5・6年総計			
	相手意識	必然性	ほんもの	コミュニケーションの楽しさ・意義	相手意識	必然性	ほんもの	コミュニケーションの楽しさ・意義	相手意識	必然性	ほんもの	コミュニケーションの楽しさ・意義
あると思われる(Y)	123	22	117	115	102	6	98	102	225	28	215	217
ないと思われる(N)	2	3	2	6	2	2	2	2	4	5	4	8
どちらか不明(?)	1	102	8	6	0	96	4	1	1	198	12	7

児童が、そのために英語を使ってやり取りをし、この活動の目的を達成することができるからである。

第3に、各Small Talkにおいて、4つの視点がどの程度備えられているか、という視点で分析した。表7「各Small Talkにおける視点数別頻度」は、一つの一つのSmall Talkが4視点をどれだけ含んでいるかを分析した表である。4視点とも含んでいるSmall Talkは、全体の11%である。多くのSmall Talkは、先にも述べた通り、必然性という視点で曖昧であるが、他の3つの視点は含んでいるものが80%と多くを占めている。一方で4視点とも含んでいないものもある。例えば、「ポイントティングゲームをしよう。」という活動では、グループで季節とその季節ごとの催しや特徴的な出来事などをかいた複数枚の絵カードを前にする。指導者がAugustと言っていると早くそのカードを見つけた児童が、August/summer festivalと書かれた絵カードの後半の単語summer festivalと声を出してそのカードを手に入れるという活動である。単語に慣れ親しむための活動としては、意味はあるが、Small Talkの意図する「意味あるやり取り」にはなっていない。他にも詳細は明らかでないが、「マッチングゲームをしよう」、「動物なりきりクイズをしよう」は、いずれもSmall Talkの目指すやり取りを具現化したものとは言えない。

以上のことから、指導者は、教科書にSmall Talkあるいは「やり取り」という表示があるからと言って、そのまま使用しても本来のSmall Talkの意図を十分に意識したものでない場合がある。久埜(2006)は、意味のない練習に陥らないために、「今飛び交っているこの音はことばか、それとも『ことばのぬけがら』か」という視点もいつも

表8 「各Small Talkにおける視点数別頻度」

視点数別	5年合計	6年合計	5・6年総計	%
4視点ある	19	6	25	11
3視点ある	91	92	183	79
2視点ある	14	3	17	7
1視点ある	3	1	4	2
0視点	1	2	3	1

持っていたい。」と述べている。むしろ、指導者が本来のSmall Talkの意図を意識して、教科書を利用しながら主体的に話題や活動の手順を考える姿勢が求められている。

4 まとめ

以上、7種類2学年分の小学校外国語科教科書について、Small Talkの頻度、その話題、意味あるやり取りを中心に論じてきた。このことから明らかになったのは、①多くの教科書が「意味あるやり取り」を意識したSmall Talkを取り扱っているが、回数的にも質的にも十分とは言えない。②話題については、様々に示されているが、学習指導要領の例示をすべて網羅しているとは言えない。指導者は、単元の学習内容をよく分析し、児童の興味関心に関する実態把握をして、自ら適切な話題を考え決定する必要がある。③「意味あるやり取り」のための4つの視点の内、「必然性」については、工夫が必要になる。児童を英語でやり取りをしたいという気持ちにさえるためにも大切な工夫となる。「何のために」「何を」行うのか、児童の実態に合わせて検討することが大切である。…中略…学級の児童の実態に合わせて修正することも必要である。それを行うことができるのは担任である。」(研修ガイドブック)という意図を生かすことにもつながる。

今後、Small Talkの具体的なやり取りを質的に分析して、指導者がその良さや課題を具体を共有すること、Small Talk指導ができる教員養成のためにコアカリキュラムなどを活用して力量形成の在り方を考えていく必要がある。

表6 「Small Talkの4つの視点に関する分析表の一部」

教科書A					教科書B					教科書C					教科書D									
話題、英語質問等	ページ	言語活動の4つの視点			参考意見	話題、英語質問等	ページ	言語活動の4つの視点			参考意見	話題、英語質問等	ページ	言語活動の4つの視点			参考意見	話題、英語質問等	ページ	言語活動の4つの視点			参考意見	
		相手意識	必然性	ほんものの楽しさ・意義				相手意識	必然性	ほんものの楽しさ・意義				相手意識	必然性	ほんものの楽しさ・意義				相手意識	必然性	ほんものの楽しさ・意義		
What's your name?	10	Y	?	Y	N		4	Y	?	Y	N		17	Y	?	Y	Y		20	Y	?	Y	Y	
What sport do you like?	12	Y	?	Y	Y		4	Y	?	Y	N		17	Y	?	Y	Y	「3・4年生で活動した表現」として取り上げている。問いと答え詳しく示されている。	28 30	Y	?	Y	Y	
What color do you like?	14	Y	?	Y	Y		4	Y	?	Y	N		17	Y	?	Y	Y			Y	?	Y	Y	

2020年度小学校外国語科新教科書分析

教科書E		言語活動の4つの視点				参考意見	教科書F		言語活動の4つの視点				参考意見	教科書G		言語活動の4つの視点				参考意見		
話題、英語質問等	ページ	相手意識	必然性	ほんもの	の楽しさ・意義	コミュニケーション	話題、英語質問等	ページ	相手意識	必然性	ほんもの	の楽しさ・意義	コミュニケーション	参考意見	話題、英語質問等	ページ	相手意識	必然性	ほんもの	の楽しさ・意義	コミュニケーション	参考意見
How do you spell your name? 「4人の名前を聞いて、キーボードのアルファベットにタッチしよう。」	19	Y	Y	Y	Y		What ~do you like? I like ~.	25	Y	?	Y	Y			「1自分のたんじょう日をいみましょう。2女だちや先生のたんじょう日をたずねましょう。下に表があり、英語でName, Birthdayとあり、吹き出しにNameには名前、Birthdayにはたんじょう日を書こう。」	15	Y	Y	Y	Y		
What seson do you like? I like . 「好きな季節をたずねあおう。」	26	Y	?	Y	Y	教師対児童でなく、児童対児童となっている。	Do you want a~?	35	Y	?	Y	Y	もしかすると、What do you want?かもしれない。	「2女だちや先生に、たんじょう日やたんじょう日にほしいものをたずねましょう。」下に表があり、Name,Birthday,ほしいものがある。英語の説明は付いていない。	17	Y	Y	Y	Y		ステップをきちんでいる。自とることを言うように準備する段階、友達と話合う段階。でもこれは、先生が主導のSmall Talkではない。	
「12か月のカードを使ったゲームをしよう。月の名前あてゲーム、メモリーゲーム」	27	N	N	N	N		What do you have on Monday?	43	Y	?	Y	Y	haveで授業のことを聞くのは新鮮に感ずるかもしれない。	「友だちに好きな教科をたずねて、ランキングのぼうグラフを作りましょう。」Name,好きな教科を書き込む表が10人分ある。その横に、棒グラフを作るチャートが準備されている。	23	Y	Y	Y	Y			

〈参考文献〉

- 東昭二(2015). 「スキーリフトに乗り合わせた北米の初対面の人たちは、どのように会話をするのか?—スモール・トークの談話分析—」『スキー研究Journal of Ski Science』 Vol.12, No.13-14 日本スキー学会
- バトラー後藤裕子(2005). 『日本の小学校英語を考える』 東京:三省堂
- Fine, Daniel(2018). *THE SMALL TALK GUIDEBOOK*. CPSIA
- 樋口忠彦他編著(2017). 『小学校指導法事典 教師の質問112に答える』 東京:教育出版
- 本田敏幸(2019). 「スモールトークの効果と留意点」『英語教育』10月号, 10-11 東京:大修館書店
- 井上香(2019). 「こんな時どうする!? 英語でコミュニケーション」『SEA Journal』 No.166, 52-54 一般社団法人 日本半導体製造装置協会
- 川村一代(2020). 「外国語(英語)科におけるSmall Talkの指導~小学校での実践と中学校への提言~」『皇學館大学紀要』58巻 74-99
- King, Patrick(2020). *better small talk*. CPSIA
- 久笠百合・佐藤令子・永井淳子・粕谷恭子(2006). 『ここがポイント! 小学校英語』 東京:三省堂
- Lowndes, Steve(2020). *Break the ice Talk to Strangers & win your fears*. CPSIA
- 文部科学省(1996). 「中央教育審議会答申案」
- 文部科学省(2017). 「文部科学省は小学校外国語活動・外国語研修ガイドブック」
- 文部科学省(2017). 「We Can! 1」
- 文部科学省(2017). 「We Can! 2」
- 文部科学省(2019). 「生きる力学びのその先へ」
YouTube文部科学省チャンネル<https://www.youtube.com/watch?v=wc8VdrwOMBs>
- 文部科学省(2018). 『小学校学習指導要領(平成29年告示) 解説 外国語活動・外国語編』
- 文部科学省(2019). 『移行期における指導資料について(中学校外国語科)』
- 文部科学省(2018). 『小学校学習指導要領(平成29年度告示) 解説 特別活動編』
- 文部科学省YouTube文部科学省チャンネル「[なるほど! 小学校外国語①] 言語活動 直山木綿子文部科学省初等中等教育局視学官 × 櫻木瑠子文部科学大臣報道官」
"mextchannel"SmallTalk" <https://www.youtube.com/playlist?list=PLGpGsGZ3lmbCezq1TzvGw6E-z0kmhKqKj>
- 内閣府(2003). 「人間力戦略研究会報告書」
- 永井淳子・粕谷恭子(2019). 『小学校の英語 教室で使える基本表現200(新版)』 東京:三省堂
- 長屋尚典(2020). 『東京言語研究所・2020年度理論言語学講座 講義録』
- 白井恭弘(2012). 『英語教師のための第二言語習得論入門』 東京:大修館書店
- 白畑知彦他編(2009). 『改訂版英語教育用語辞典』 東京:大修館
- 齋藤純男他編(2015). 『明解言語学辞典』 東京:三省堂
- 立花千尋(2018). 「小学校外国語科における新教材TextのDiscourse分析—新教材““We Can!””のLet’s Watch and Think とSmall Talkに焦点を当てて—」『姫路大学教育学部紀要』第11号 39-57
- 瀧沢広人(2019). 『英語教師のためのTeacher’s Talk & Small Talk 入門』 東京:明治図書
- Tannen, D.(2007). *Talking Voices* Cambridge University Press.
- 巽徹(2018). 「既習表現を繰り返し使いながら定着を図る、高学年のSmall Talk(スモール・トーク)」『教育の窓中部版小学校英語』vol.5 2-3 名古屋:東京書籍株式会社中部支社
- 戸村玲子(2019). 「高校生らしい広がりのあるスモールトークのトピック例」『英語教育』10月号, 18-19 東京:大修館書店
- Donna, Prince(2020). *START A CONVERSATION*. CPS
- 山田誠志(2018). 『自分の本当の気持ちを「考えながら話す」小学校英語授業一使いながら身に付ける英語教育の現実—』 東京:日本標準
- 八木澤学(2019). 「小学校で児童と一緒に楽しみたい無理なくできるSmall Talkの実践例」『英語教育』10月号, 14-15 東京:大修館書店
- 山口美穂(2019). 『Small talk月別メニュー88』 東京:明治図書
- 吉澤孝幸(2019). 「Talk and Reportで、まず『使う』から入ってみませんか? 中学校で行うスモールトーク」『英語教育』10月号, 16-17 東京:大修館書店
- 〈注〉
東書「NEW HORIZON Elementary English Course Picture Dictionary」は、辞書機能を主としていること、中に「こんな時どういうの①、②」とあるが、いずれも会話を続けるための表現は含んでいるが、話題を提示することはないので、分析対象としない。